**日本の教育がダメな２つの理由**

**１．暗記教育**

日本の教育だけに限った事ではないですが、教科を理解する事よりも、暗記している。特に数学では、答えに辿り着くまでの解法、過程を暗記しがちなので、数学を勉強するべき本来の目的である、

・問題を解くために思考する事

・意味を理解する事

・数学の知識をスキルとして日常やビジネスにおける問題解決に使う事

と言う肝心の目的が達成されないままでいる生徒が多いわけです。

**２．知識がスキルになっていない**

「数学はまだしも、他の教科はちゃんと理解している。だけど、何も使えないじゃないか！」と言うあなた。

理解したはずの事を使えないのは、知識だけで留まっており、スキルになっていないからです。俗に言う、頭でっかちですね。

例えば英語。

多くの日本人が学校で英語を勉強したのにも関わらず、英語が出来ないのは、英語を使っていないからです。アウトプットを通して、知識の足りなさや間違いに気が付く、トライアル＆エラーを通して、知識に磨きが掛かり、「スキル」に結晶化する。

ビジネスでも同じです。幾らマーケティングや営業を本で勉強して知識を貯えても、実際に使ってみないと本当に使える形にはならない事が多い。

そして、忘れてはいけないのが、使わない剣、磨いていない刃は錆びると言う事です。小中学生の時にバイオリンの神童と呼ばれた人も、埃を被ったバイオリンケースからバイオリンを１０年ぶりに取り出せば、腕は落ちているものです。と言うように、学んだ事や理解した事でも使わなければ忘れてくるのが人間の脳（エビングハウスの忘却曲線）、忘却の城。

今回の動画で伝えたかったのは、何か目的があって、何かを習っているのなら、しっかりと理解してアウトプットすれば、学問にせよスポーツにせよ、結果に繋がりやすくなる。

どうせ寿命を削って何かを習うなら、習得できる確率が上がる方法を選んだ方が良いでしょう。ただまぁ、伴う苦しさに耐える事が出来るか…何か楽な方法ないですかね～。